

令和2年度(2020年度)用

中学校保健体育用

「新編 新しい保健体育」

臨時休業明けの年間指導計画参考資料

(学校での授業と、学校での授業以外の場において取り組む学習活動の併用版)

【1年】 体育編1章『運動やスポーツの多様性』

各学校の状況によって、年度当初に予定していた学習内容の指導を、本年度中に終わることが困難な場合に、学校における学習活動を重点化する際の参考資料としてご活用ください。そのうえでなお、学習内容を年度内に終わることが困難な場合は、内容の一部を次学年等に移して指導することも考えられます。各学校の状況に応じて、適切にご判断ください。なお、次学年等に移して指導する場合には担当教員間の引継ぎにご配慮ください。

令和2年(2020年)6月版

※単元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。
ご了承ください。

東京書籍

体育編 1章 運動やスポーツの多様性

第1学年 教科書p.33-37, 40-41,43 配当授業時数:4時間

取り扱いの考え方

◎指導順について

4時間でひとまとまりの内容であるため、順に指導することが望ましいが、必要や状況に応じ順を入れ替えてもよい。

◎学校の授業及び学校の授業以外の場での取り扱い

学習内容や学習活動に応じて、取り扱いを判断することが望ましい。指導計画例の「ページ・小単元」の欄と「学習内容・活動」の欄それぞれの活動に以下の記号を示す。なお、本単元においては、年度当初に4時間で計画していたものの、時数確保が困難な場合、学校の授業以外の場での学習を関連付けることにより、2時間で進めることも可能であることを示している。

分類	学習内容や学習活動の別	時間数
学	教師による適切な指導が必要な内容や、話し合い・実習などが必要なもので、 学校での指導が望ましいもの。	2
▲	学校での指導が望ましいが、学校の指導計画や実施できる時間数によっては、 学校の授業以外の場での学習が可能なもの。	2

指導計画例 体育編 1章

第1学年(全4時間)

教科書 p. 33-37

40-41, 43

運動やスポーツの多様性

■学習内容■

学習指導要領の内容のまとめ

(7). 運動やスポーツの必要性和楽しさ

運動やスポーツは、体を動かしたり、健康を維持したりするなどの必要性や、競技に応じた力を試すなどの楽しさから生み出され発展してきたこと。

教科書の内容(小単元)

1 運動やスポーツの必要性和楽しさ

(1時間)

(4). 運動やスポーツへの多様な関わり方

運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えることなどの多様な関わり方があること。

2 運動やスポーツへの多様な関わり方

(1時間)

(5). 運動やスポーツの多様な楽しみ方

世代や機会に応じて、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには、自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが大切であること。

2 運動やスポーツへの多様な関わり方

(章末資料「スポーツライフ」)

(1時間)

(その他1時間, 全4時間)

■ 体育編の目標 ■

○ 総括的な目標

運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする。

○ 評価の観点に即した目標

- ・ 運動やスポーツが多様であることについて関心をもち、学習に積極的に取り組むことができるようにする。 (関心・意欲・態度)
- ・ 運動やスポーツが多様であることについて、学習した知識を活用したり応用したりすることができるようにする。 (思考・判断)
- ・ 運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする。 (知識・理解)

■ 評価規準の例 ■ (国立教育政策研究所教育課程研究センター「評価規準の作成のための参考資料」より作成)

	健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
章の 評価 規準	運動やスポーツが多様であることについて関心をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。	運動やスポーツが多様であることについて、学習した知識を活用したり応用したりしている。	運動やスポーツが多様であることについて理解している。
学習活動における 具体的な 評価規準	①運動やスポーツが多様であることについて、(情報を集めたり、意見を交換したりするなどの)活動を通して、学習に積極的に取り組もうとしている。	①運動やスポーツが多様であることについて、出された意見や集めた情報を分析したり、整理したりしている。	①運動やスポーツの必要性と楽しさについて、言ったり書き出したりしている。 ②運動やスポーツへの多様な関わり方について、言ったり書き出したりしている。 ③運動やスポーツの多様な楽しみ方について、言ったり書き出したりしている。

■指導計画例■

※【評価の観点】の丸数字（①，②…）は，■評価規準の例■の丸数字に対応しています。

※【評価場面：活動】の数字（1，2…）は，学習内容と活動の数字に対応しています。

(ア) 運動やスポーツの必要性和楽しさ

ページ 小単元	学習内容と活動	評価の観点と方法（本時のおもな評価）
第1時 P.34 〓 P.35 1 運動 や スポ ーツ の 必 要 性 と 楽 し さ 学 ▲	<p>＜本時の目標＞</p> <p>運動やスポーツは，体を動かしたり，健康を維持したりする必要性や，競技に応じた力を試したり，自然と親しんだり，仲間と交流したり，感情を表現したりするなどの多様な楽しさから生み出されてきたことを理解できるようにする。また，運動やスポーツは，人々の生活と深く関わりながら，いろいろな欲求や必要性を満たしつつ発展し，その時々の変化とともに，その捉え方も変容してきたことを理解できるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「今日の学習」 本時の学習の見通しをもつ。▲ 2 「やってみよう」 自分や身近な人々が行っている運動やスポーツについて，ノート等に記入する。▲ 3 資料1等を参考に，運動やスポーツには，どのような楽しさがあるか調べ，発表し合う。学 4 資料2等をもとに，運動やスポーツは，社会の変化とともに，その捉え方も変容してきたことを発表し合う。学 5 「考えてみよう」 学習したことを活用し，読み物「駅伝の始まり」等をもとに駅伝の楽しさについて考え，発表し合う。学 6 本時の学習をノート等にまとめる。▲ 	<p>【評価の観点】 関心・意欲・態度①</p> <p>運動やスポーツが多様であることについて，（情報を集めたり，意見を交換したりするなどの）活動を通して，学習に積極的に取り組もうとしている。 【評価場面：活動2，評価方法：教師の観察，ノート等への記入状況】</p> <p>【評価の観点】 思考・判断①</p> <p>運動やスポーツが多様であることについて，出された意見や集めた情報を分析したり，整理したりしている。 【評価場面：活動5，評価方法：教師の観察，ノート等への記入状況】</p> <p>【評価の観点】 知識・理解①</p> <p>運動やスポーツの必要性和楽しさについて，言ったり書き出したりしている。 【評価方法：ノート等への記入状況，小テストや章末テスト】</p>

(イ) 運動やスポーツへの多様な関わり方

ページ 小単元	学習内容と活動	評価の観点と方法（本時のおもな評価）
第2時 P.36 〓 P.37 2 運動 や スポ ーツ へ	<p>＜本時の目標＞</p> <p>運動やスポーツには，直接「行くこと」，テレビなどのメディアや競技場での観戦を通して，これらを「見ること」，また，地域のスポーツクラブで指導したり，ボランティアとして大会の運営や障がい者の支援を行ったりするなどの「支えること」など，多様な関わり方があることを理解できるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「今日の学習」 本時の学習の見通しをもつ。▲ 2 「やってみよう」 教科書の写真等を参考にしながら，運動会を例に運動やスポーツへの関わり方を 	<p>【評価の観点】 関心・意欲・態度①</p> <p>運動やスポーツが多様であることについて，（情報を集めたり，意見を交換したりするなどの）活動を通して，学習に積極的に取り組もうとしている。 【評価場面：活動2，評価方法：教師の観察，ノート等への記入状況】</p> <p>【評価の観点】 思考・判断①</p> <p>運動やスポーツが多様であることについて，出された意見や集めた情報を分析</p>

の多様な関わり方 学 ▲	考え、ノート等に記入する。▲ 3 資料1等を参考に、スポーツには「行うこと」「見ること」「支えること」「知ること」などの多様な関わり方があることを整理し、発表し合う。学 4 資料1や口絵①～④を参考に、「スポーツを支える」という関わり方について、ほかにどんな支え方があるかを考え、発表し合う。学 5 「考えてみよう」学習したことを活用し、地域のスポーツイベントに自分がどのように関わることができるか考え、発表し合う。学 6 本時の学習をノート等にまとめる。▲	したり、整理したりしている。 【評価場面：活動5，評価方法：教師の観察，ノート等への記入状況】 【評価の観点】知識・理解② 運動やスポーツへの多様な関わり方について、言ったり書き出したりしている。 【評価方法：ノート等への記入状況，小テストや章末テスト】
--------------------	---	---

(ウ). 運動やスポーツの多様な楽しみ方

ページ 小単元	学習内容と活動	評価の観点と方法（本時のおもな評価）
第3時 P.40 ？ P.41 スポ ー ツ ラ イ フ 学 ▲	<本時の目標> 世代や機会に応じて、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには、自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが大切であることを理解できるようにする。 1 本時の学習の見通しをもつ。▲ 2 世代や機会に応じ、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためにはどうしたらよいか、教科書のイラストや写真も参考にしながら考え、ノート等に記入する。学 3 これまでのスポーツライフについて振り返り、発表し合う。学 4 現在のスポーツライフについて整理し、発表し合う。学 5 これからのスポーツライフについて考え、生涯にわたってどのようなスポーツライフを送りたいか、発表し合う。学 6 本時の学習をノート等にまとめる。▲	【評価の観点】関心・意欲・態度① 運動やスポーツが多様であることについて、（情報を集めたり、意見を交換したりするなどの）活動を通して、学習に積極的に取り組もうとしている。 【評価場面：活動2，評価方法：教師の観察，ノート等への記入状況】 【評価の観点】思考・判断① 運動やスポーツが多様であることについて、出された意見や集めた情報を分析したり、整理したりしている。 【評価場面：活動5，評価方法：教師の観察，ノート等への記入状況】 【評価の観点】知識・理解③ 運動やスポーツの多様な楽しみ方について、言ったり書き出したりしている。 【評価方法：ノート等への記入状況，小テストや章末テスト】
第4時 学 ▲	この時間は、教科書 p.43 の「確認の問題」「活用の問題」「学習のまとめ」などに充てる。 学 ▲	